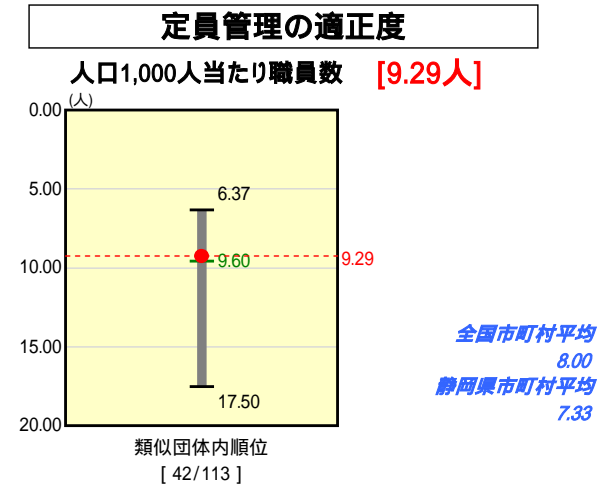
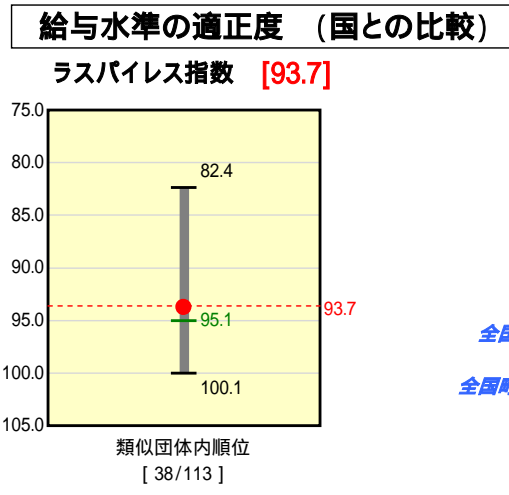
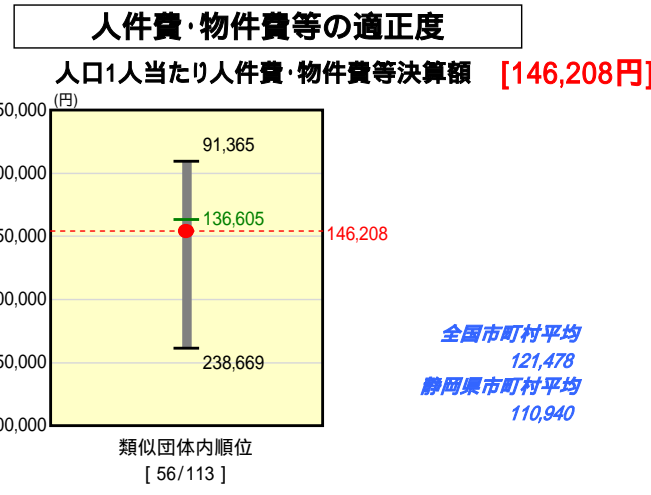
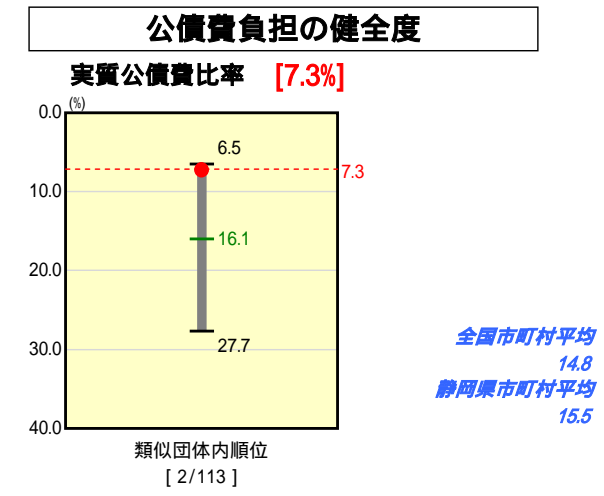
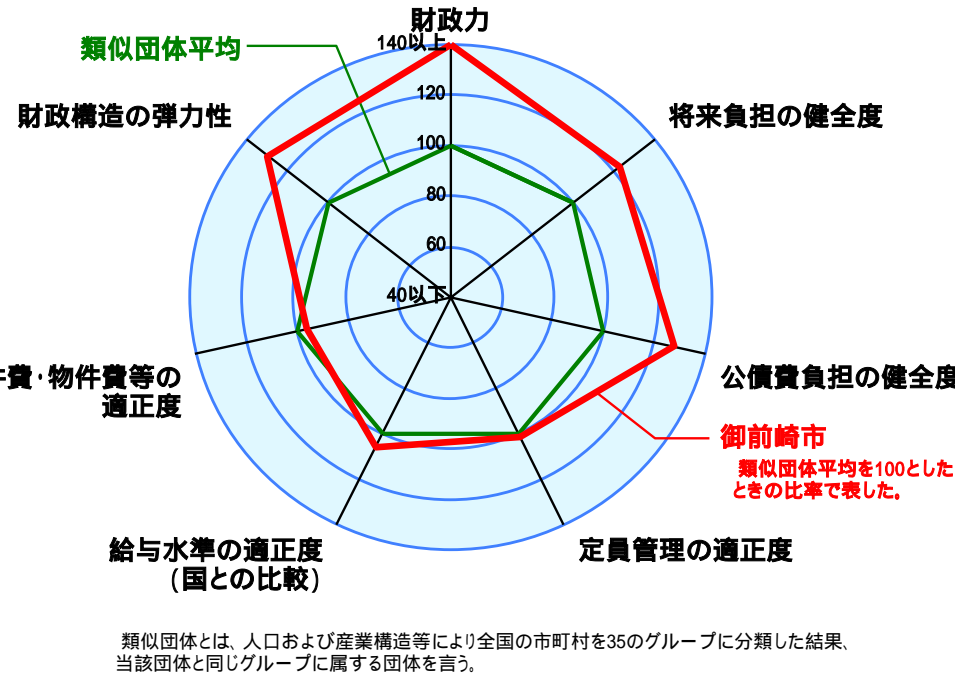
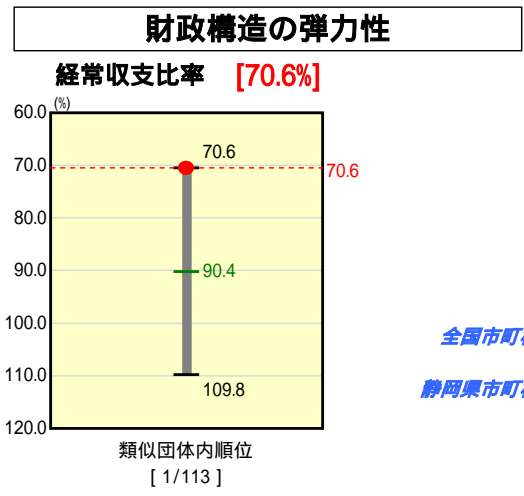
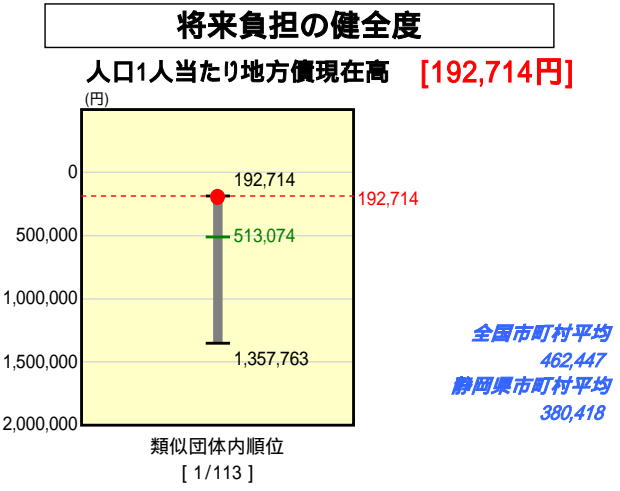
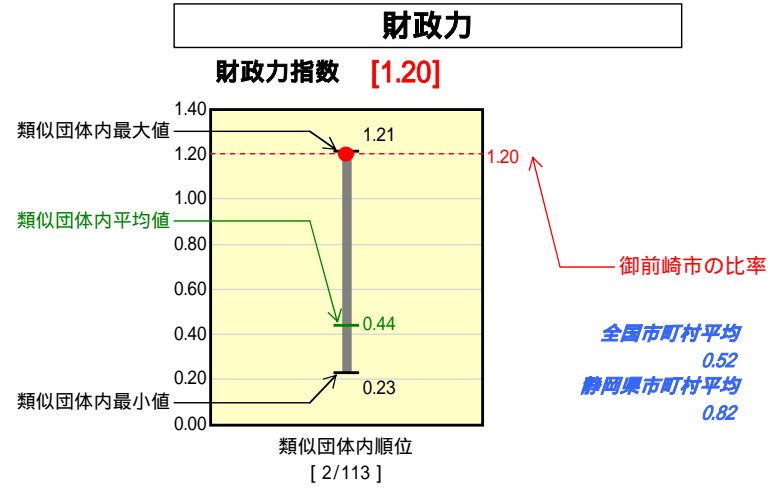


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

静岡県 御前崎市

人口	34,999	人(H18.3.31現在)
面積	65.85	km ²
歳入総額	17,837,167	千円
歳出総額	16,290,041	千円
実質収支	1,517,998	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
大型事業所の立地により類似団体平均を上回る税収があるため、1.20となっている。法人関係の固定資産税の税収増が要因として挙げられる。今後は、集中改革プランに沿った歳出削減、定員管理等の適正化、地方税の徴収強化等の取組みを通じて、財政基盤の強化に努める。

経常収支比率
経常収支比率が70.6と類似団体平均を下回っているが、投資的経費の割合が高いためである。補助費等に係るものが26.4%、続いて人件費に係るものが17.3%となっている。平成17年度策定の行財政改革大綱により、補助金、事務事業の見直しを行い歳出の削減を実施、また、新規採用職員の抑制など職員数の削減に(5年間で27人)より経常経費の削減を図る。

ラスパイレス指数
給与と構造の見直しなどにより類似団体平均を下回っているが、今後、より一層の給与の適正化に努める。また、退職時特昇、特殊勤務手当の廃止などを行い、人件費の削減に努める。

実質公債費比率
過去からの起債抑制策により類似団体平均を下回っている。今後とも、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に頼ることのない財政運営に努める。

人口1人あたり地方債現在高
起債抑制により、現在のところ類似団体平均を下回っている。今後も事業における地方債の発行の抑制により、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

人口1,000人あたり職員数
原子力発電所の立地及び主要港湾を抱えているため対応部署の設置、さらに合併による住民サービスの低下を防ぐため支所の設置により、類似団体平均を上回っている。今後は、民間委託の推進等により、職員の削減(5年間で27人)に努める。

人口1,000人あたり人件費・物件費等決算額
類似団体平均に比べ高くなっているのは、主に物件費を要因としており、CATV事業の管理運営業務を市の出資する法人へ委託しているためである。指定管理者制度を導入することで委託先の対象を民間企業へも広げているところであり、今後は競争に伴うコスト削減効果が出てくることが見込まれる。